

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2015年8月2号

残暑お見舞い申し上げます

後期高齢者医療広域議会第2回定例会

8月3日に定例会が招集され、大分県医師会館で行われました。県下18市町村から選出された26人の議員で構成されています。当日の定例会で質疑、討論、一般質問をおこなったのは私一人でした。



○後期医療被保険者の保険料は、昨年より1人当たり1000円以上さがっています。これは年金引き下げなどで後期医療被保険者の

(自席から質問する福間)

所得・収入が大分県の場合、

昨年より、約8億円少なくなっていることが原因、年金引き下げの悪影響が色濃く表れています。

「軽減特例」廃止で保険料は2倍から10倍に

○制度導入時に列島騒然のなかで、制度化された「軽減特例」廃止法定減額2割、5割、7割の軽減に加え、8・5割、9割軽減が廃止されれば、大分県の約10万人の後期高齢者には、約13億円の負担増となり、保険料は2倍から10倍に跳ね上がります。



(反対討論する福間)

その他、入院給食費の値上げなど、後期高齢者への新たな負担増が、めじろ押しの制度改悪が始まります。

医療制度改悪を許さない運動を広げましょう。

大分市議会第2回臨時会

8月10日の臨時会には、消防自動車購入、道路工事、碩田小中一貫校建設の工事請負契約の締結議案が提案され、私は、以下の議案質疑をおこないました。

住民の納得と合意のない

碩田小中一貫校建設に反対

●住民への基本設計の説明会はどのようなかたちでおこなわれたのか。●小学校の給食は自校方式が原則、建設設計を変更し、建設に入るべきではないか。●碩田小中一貫校の建設工事は、43億6,104万円で4社による共同企業体で建設を進めるとしている。その内1社は、別の道路工事請負(3億9,678万円)の共同企業体の代表構成員となっている。同じ時期に、大きな工事を同時に受注して、安定的な施工はできるのか。と質問。



(答弁を聞く福間)

教育部長・総務部長は「住民に10数回説明した」、「敷地に限りがありやむを得ない事情があった」

「安定して施工管理に努め

る」との答弁でした。

★9月1日から第3回定例市議会が開会されます。

後半は昨年度の決算審査がおこなわれます。

平和・安全・暮らし・福祉・地域のご意見・ご

要望をおよせください

———生活相談日誌———

○、住宅退去問題で弁護士、不動産業者と協議、解決のめどがたちました。

○固形燃料の活用についての調査・協議、関係者へ報告

○道路標識設置、生活保護の申請・自立厚生費の取り扱い、

医療、などの相談に追われました。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6

546-4505 (FAX兼用)

携帯090-2714-5612

